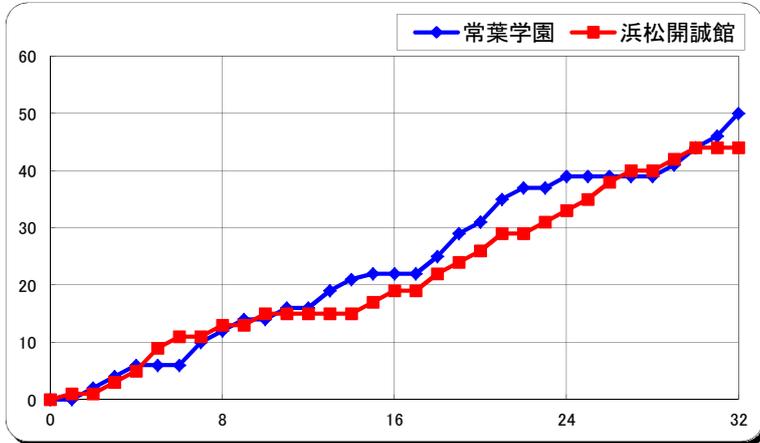




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	さいたま市記念総合体育館																
日時	平成24年8月23日(木) 14:50																
コート	Aコート 第5試合																
カテゴリー	女子 決勝トーナメント準々決勝																
主審	福岡 敏徳 (本部)																
副審	佐賀 雄幸 (宮城県)																
Team A		Team B															
常葉学園 (静岡県)	50	浜松開誠館 (静岡県)															
	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	12	1st	13	10	2nd	6	17	3rd	14	11	4th	11	OT			44
12	1st	13															
10	2nd	6															
17	3rd	14															
11	4th	11															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		常葉学園					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	篠宮 杏奈	×	9	0	3	3	2
5	見崎 南美	×	11	0	5	1	3
6	柴 美佑	×	8	0	4	0	2
7	大瀧 菜月	DNP	0	0	0	0	0
8	小泉 友里	DNP	0	0	0	0	0
9	齊藤 志帆	DNP	0	0	0	0	0
10	松永 美樹	DNP	0	0	0	0	0
11	花村 みなみ	DNP	0	0	0	0	0
12	伊東 ひかる	×	18	1	7	1	2
13	高橋 夏瑠	×	4	0	2	0	2
14	木立 野斗	DNP	0	0	0	0	0
15	造酒 祐香	DNP	0	0	0	0	0
16	伊東 かおる	DNP	0	0	0	0	0
17	渡邊 侑季	DNP	0	0	0	0	0
18	野本 陽香	DNP	0	0	0	0	0
監督	小前 宏史						0
コーチ	佐野 恵子						0
合計			50	1	21	5	11

Team B		浜松開誠館					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	小幡 美乃理	×	7	0	3	1	3
5	中村 香音	/	0	0	0	0	0
6	伊藤 里奈	×	9	1	3	0	2
7	山口 史乃	×	6	0	3	0	2
8	小久保 由衣子	×	2	0	1	0	1
9	木下 瑞穂	/	2	0	1	0	1
10	平野 未来	/	6	0	3	0	3
11	内山 茜	DNP	0	0	0	0	0
12	千原 由維子	DNP	0	0	0	0	0
13	石津 知己	DNP	0	0	0	0	0
14	陽本 麻優	×	12	1	3	3	2
15	松下 奈央	DNP	0	0	0	0	0
16	富安 優理	DNP	0	0	0	0	0
17	太田 幸那	DNP	0	0	0	0	0
18	滝川 美羽	DNP	0	0	0	0	0
監督	宮崎 善一						0
コーチ	石川 奈美						0
合計			44	2	17	4	14

【戦評】

決勝トーナメントをひとつ勝ち上がり、ベスト4を目指す常葉学園と浜松開誠館。くしくも来年、全国大会の開催が予定されている静岡県同士の一戦となった。1Q、常葉学園はマンツーマンDef、浜松開誠館は2-1-2のゾーンDef。立ち上がり両チームとも硬さのためかシュートが決まらない。その後、両チームとも徐々にシュートが入り出し、一進一退の攻防が続く。常葉学園(12-13)浜松開誠館で終了。2Qに入り、常葉学園#12のゴール下のリバウンドシュートや浜松開誠館#6のカットインシュートが決まるがファウルやミスが目立つ。常葉学園は#6のスチールからのレイアップシュートや#12の3Pなどで得点を伸ばす。浜松開誠館は2回タイムアウトをとり、流れを変えたいがシュートが単発になる。2Qの終盤に浜松開誠館#4のドライブインなどで前半、常葉学園(22-19)浜松開誠館で終了。

3Qは常葉学園#12のバスケットカウント1スローでスタート。それに対し浜松開誠館は#6、#14の3Pやフリースローで点差を縮めようとするが常葉学園の粘り強いDefからの得点でなかなか縮まらない。そこで浜松開誠館はタイムアウトをとる。その後、浜松開誠館#10、#4のシュートが決まるが点差は縮まらない。4Q、浜松開誠館#14、#6のシュートや#4のフリースローの連続ゴールで1点差とする。その後、#7のシュートで逆転に成功。一方、常葉学園は#5のゴールが決まるまで5分間、無得点。徐々に得点し、#4のフリースローで同点とする。その後、一進一退の攻防が続く。常葉学園#4のシュートで再逆転。#5や#4のフリースローで接戦を常葉学園が(50-44)で制した。

【戦評記入者】

指宿 学